

フィールド5 教育文化

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

◎ 学習活動の充実

(単) **公民館施設環境整備事業 (教育委員会事務局 社会教育課)**

60,034 千円 (36,496 千円)

1 事業目的

公民館利用者に適切な使用環境を提供するために必要な整備と維持管理を行う。公民館トイレについては計画的更新をすることとし、平成28年度は角野公民館の1階トイレの改修及び2階トイレの新設を行う。

2 28年度の事業内容

- (1) 公民館施設修繕 5,382千円
公民館の老朽箇所及び破損箇所の修繕
- (2) 公民館管理委託 1,335千円
公民館敷地の高木剪定及び樹木消毒業務委託
- (3) 公民館改修工事 48,298千円
角野公民館トイレ等改修工事
若宮公民館の防水工事
エアコン設置工事
- (4) 公民館備品購入 4,240千円

3 財源内訳

- (1) 繰入金 11,492 千円 (公共施設整備基金繰入金)
- (2) 一財 48,542 千円

(単) **夜間照明施設整備事業 (教育委員会事務局 社会教育課)**

50,535 千円 (105,140 千円)

1 事業目的

老朽化が進む学校開放照明設備の計画的な更新を行うことにより、利用環境の向上と市民のスポーツやコミュニティ活動の促進を図る。

2 28年度の事業内容

夜間照明設備設計及び工事 (金栄小学校、金子小学校)

3 財源内訳

- (1) その他 20,000 千円 (スポーツ振興くじ助成金)
- (2) 一財 30,535 千円

◎ 学校教育の充実

(施) 学力向上学習支援事業費 (教育委員会事務局 学校教育課)

2, 849 千円 (30,176 千円)

1 事業目的

児童生徒に基礎的な知識や技能を身に付けさせるとともに、主体的に学習に取り組む態度を育成し、学習習慣の定着化と思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を育む事業を推進し、確かな学力の習得を図る。

2 28年度の事業内容

(1) あかがね算数・数学コンテスト 200千円

数学的な考え方を駆使して難問に挑戦することを通して、優れた数学的資質能力を備えた児童生徒を育成する。

(2) 新聞制作体験学習事業 868千円

地元新聞社と協力し、中学生が取材や記事を書く体験を通じて言語やコミュニケーション能力を高める。

(3) 英語キャンプ開催費 1,691千円

大学生やALT等との合宿生活を通じて、英語で聞き、話し、仲間とともに考える楽しさと生きた英語を学び、英語力とコミュニケーション力を深める。

(単) 放課後まなび塾推進事業 (教育委員会事務局 学校教育課) (総合戦略)

67,571 千円 (0 千円)

1 事業目的

月～金の学校の放課後、希望する小学生(4年生～6年生)に教員OB等が学習支援員となり、宿題や予習など児童が自主的に行う学習をサポートするなどの学習機会を提供し、子どもの学習習慣の定着と学力向上を目指すものとする。

2 28年度の事業内容

(1) 放課後まなび塾運営費(12か所予定) 29,976千円

(2) 放課後まなび塾開設に係る備品購入費等 3,348千円

(3) 放課後まなび塾開設に係るエアコン設置工事費 34,247千円

3 財源内訳

(1) 国 23,368 千円 (地方創生推進交付金)

(2) 一財 44,203 千円

(単) **別子中学校学び創生事業 (教育委員会事務局 学校教育課)** (新規)

40,323 千円

1 事業目的

児童生徒数が減少する別子中学校についてICT等の積極的な活用により地理的、地形的ハンディを克服した最先端の教育環境を整備し、高い志をもった子どもから選ばれる新しいスクールモデルの学校運営を進める。

2 事業概要

地域のコミュニティの核となる魅力ある学校づくり「グローバル・ジュニア・ハイスクール構想」に取り組む。市内外から生徒を募集し、少人数個別学習、教育課程特例校など特色ある教育課程の編成や豊かな自然環境を活かした多様な学習カリキュラム等の実施により、世界に羽ばたくリーダーの育成を目標とし、地域の活性化と結びついた活力ある学校環境づくりを推進する。

3 28年度の事業内容

(1) 事務費	1,556千円
(2) スクールバス運行	8,200千円
(3) 施設・工事関係	24,600千円
・教室等修繕	
・無線LAN整備	
・工事設計委託	
・教職員住宅改修工事	
(4) 備品購入	5,967千円
・公用車、ICT機器、学校図書	

4 財源内訳

(1) 繰入金	40,323 千円 (別子山振興基金繰入金)
---------	------------------------

(施) **生きた英語教育推進費 (教育委員会事務局 学校教育課)** (拡充)

54,275 千円 (22,762 千円)

1 事業目的

児童・生徒の英語力の向上と国際理解教育の推進のため、現在外国語指導助手及び英語指導員を各3名配置しているが、国際理解教育の一層の推進、平成32年度から全面实施される次期学習指導要領から小学校高学年で英語が科目化されること及び中学生の更なる英語力向上等を視野に入れ、外国語指導助手を8名増員し、合計11名及び英語指導員3名を配置し、各小中学校へ派遣する。

2 28年度の事業内容

外国語指導助手及び英語指導員人件費等

- ・事務費 (時間外等)
- ・報酬 (外国語指導助手11名分及び英語指導員3名分)
- ・共済費 (外国語指導助手11名分及び英語指導員3名分)
- ・旅費 (招致旅費、バス代金等)
- ・通信運搬費 (別子山地域バス回数券)
- ・住宅賃借料 (外国語指導助手11名分)
- ・備品購入費 (住宅用家電備品等)
- ・負担金 (自治体国際化協会負担金)

(施) **海外高校生日本語スピーチコンテスト開催事業費 (教育委員会事務局 社会教育課)**

(新規)

1,662 千

円

1 事業目的

第21回海外高校生による日本語スピーチコンテストを本市で開催することにより、市内中高生の国際理解を深めるとともに情報発信を行う。

2 事業年度

平成28年度

3 28年度の事業内容

- ・開催地負担金 1,662千円
- ・開催日 平成28年7月30日(日)(予定)
- ・開催場所 新居浜市市民文化センター 大ホール

4 財源内訳

- (1) 県 1/2 831 千円 (新ふるさとづくり総合支援事業費補助金)
- (2) 一財 831 千円

(施) **公立学校施設長寿命化計画策定費 (教育委員会事務局 学校教育課)** (新規)

20,000 千円

1 事業目的

学校教育施設全般の今後の改修又は改築について、事業費の比較検討や、予算の平準化を含めた小中学校全体の維持管理計画及び施設個々の長寿命化計画の策定は急務である。現状調査を含めた施設長寿命化等の長期計画を作成する。

2 事業年度

28年度～29年度

3 事業概要

小中学校長寿命化改修等計画作成業務委託 23,760千円 (H28～29継続費)

4 28年度の事業内容

業務委託料 20,000千円

- ・ 現地調査 (利用状況確認、目視による劣化状況の確認、漏水等各施設の不備確認)
- ・ 図面作成 (既存データとの確認、平面図作成等)
- ・ 緊急性を要する工事の整理等

(公) **小学校施設環境整備事業 (教育委員会事務局 学校教育課)**

123,425 千円 (118,185 千円)

1 事業目的

老朽化が進む小学校17校の施設について、安全で快適な教育環境の確保・維持管理を図るため、各種施設の修繕及び改修工事を施工するとともに、高木剪定・樹木消毒委託、運動場への土入れ等を行う。

2 28年度の事業内容

(1) 小学校施設環境整備事業 61,109千円

- ・ 泉川小学校場内整備工事
- ・ 船木小学校体育館屋根塗装等改修工事
- ・ 垣生小学校体育館床改修及びスロープ設置工事
- ・ 老朽・危険施設の補修・修繕
- ・ 高木剪定及び樹木消毒
- ・ 校内排水路の浚渫、遊具撤去等

(2) 小学校運動場排水整備事業 (金栄小) 62,316千円

3 財源内訳

- (1) 国1/3 20,000 千円 (学校施設環境改善交付金)
- (2) 市債75% 30,000 千円 (学校教育施設等整備事業債)
- (3) 一財 73,425 千円

(施) **小学校教育用コンピュータ整備費** (教育委員会事務局 学校教育課)

58,348 千円 (39,559 千円)

1 事業目的

学校ICT環境の維持を行い、情報教育の推進を行う。また、教育環境の向上（電子黒板の全教室への導入）を目指し、電子黒板機能付プロジェクターを順次整備していく。教育用タブレット端末をモデル校に配備し、活用及び効果について検証を行う。

2 28年度の事業内容

- (1) 教育用コンピュータ整備費 55,079千円
- ・教育用コンピュータ（児童用・教員用）リース料
 - ・器具購入費（電子黒板機能付プロジェクター、書画カメラ等）
 - ・教材備品購入費（デジタル教科書（算数））ライセンス料
 - ・保守対象外器具修繕料
 - ・保守対象外ICT機器設定手数料
- (2) 教育用タブレット整備 3,269千円
- ・教育用タブレット及びソフト使用料（リース料）
 - ・タブレット活用先進校視察

(単) **中学校施設環境整備事業** (教育委員会事務局 学校教育課)

31,626 千円 (26,920 千円)

1 事業目的

中学校12校の施設については老朽化が進み、修繕・改修の必要な箇所が多くある。安全で快適な教育環境の確保・維持管理を図るため、各種施設の修繕及び改修工事を施工するとともに、学校敷地内の高木剪定・樹木消毒委託、運動場への土入れ等を行う。

2 28年度の事業内容

- ・南中学校プールフェンス更新工事
- ・泉川中学校体育館外壁及び階段室更新工事
- ・老朽箇所の補修・改修
- ・高木剪定・樹木消毒
- ・屋内運動場屋根点検・清掃
- ・校内排水路の浚渫

(施) **学校給食多子世帯支援事業費 (教育委員会事務局 学校給食課)** (新規)

3, 922 千円

1 事業目的

子育て世代の経済的負担の軽減と、少子化対策の具体的施策として、現に新居浜市内の小中学校に通学している児童生徒3人以上を養育している世帯に対し、申請に基づき、第3子以降の学校給食費を免除する。

2 28年度の事業内容

補助金

対象見込世帯数：52世帯

対象見込者数：小学生79人、中学生6人

補助額：3, 922千円

(小学生79人×240円×190日=3, 602, 400円

中学生6人×280円×190日=319, 200円)

対象要件

市民税所得割額が非課税の世帯(要保護・準要保護援助制度にて、世帯の児童生徒すべての給食費の支援を受けられるため)を除き、世帯の市民税所得割額の制限(77,100円以下)を設ける。

◎ 芸術文化の振興

(施) **全国お手玉大会開催事業費 (教育委員会事務局 学校教育課)**

2, 000 千円 (0千円)

1 事業目的

あかがねミュージアムの完成を記念し、新居浜市が世界に誇る三つの文化のひとつ「心」のお手玉を全国に向けて情報発信を行い、文化交流を促進し、潤いのある心豊かなまちづくりの醸成を目指して開催する。

全国大会には、新居浜市民はもとより全国からお手玉ファンを新居浜市に迎え、お手玉遊びの技を競い合うとともに、伝承遊びに対する理解を深めることを目的とする。また、お手玉遊びを通して、お互いに心と心をつなぐ交流を図り、地域や世代を超えた友情の絆を深めることをねらいとし、同時に、お手玉遊びによる医学的な効果を考えるシンポジウムを開催し、お手玉遊びが身体的、精神的な安定にもたらす可能性についても考える機会とする。

2 28年度の事業内容

あかがねミュージアム完成記念事業

第18回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会開催委託費 2, 000千円

○全国大会内容(予定)

- (1) シンポジウム(脳の発育と創造性とお手玉)
- (2) 交流会(笑顔の交流で友情の絆を深めよう)
- (3) お手玉遊び競技「個人戦」
- (4) お手玉遊び競技「団体戦」

(経) **総合文化施設管理運営費 (教育委員会事務局 総合文化施設管理課)**

169,676 千円 (145,047 千円)

1 事業目的

平成27年7月に開館したあかがねミュージアムの管理運営経費。新居浜市総合文化施設及び美術館協議会、美術品の収集のための収集評価委員会、アドバイザーの招へい費用や総合文化施設の指定管理委託料、事務費等により、多くの方々に利用される施設となるよう運営する。

2 28年度の事業内容

収集評価委員会、アドバイザー等経費	1,364千円
指定管理委託料	151,200千円
情報・電話設備機器及び客数情報システム機器賃借料	10,480千円
事務費(臨時職員等)	6,524千円
徴収業務委託料	108千円

3 財源内訳

- (1) その他 234 千円 (美術館使用料)
- (2) 一財 169,442 千円

(単) **文化施設環境整備事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課)**

85,922 千円 (86,014 千円)

1 事業目的

老朽化が進んでいる文化施設、市民文化センター及び別子山ふるさと館について施設の整備をし、利用環境の改善、利便性の向上を図る。

2 28年度の事業内容

- ・中ホール照明調光操作卓改修工事
- ・中ホール音響設備更新工事(スピーカー外)
- ・大ホール屋上防水工事
- ・別子山ふるさと館外壁補修工事
- ・大ホール照明設備リース料
- ・大ホール音響設備リース料
- ・大ホール照明負荷保守点検委託料

3 財源内訳

- (1) その他 32,109 千円 (公共施設整備基金繰入金)
- (2) 一財 53,813 千円

(施) **郷土資料室管理運営費 (教育委員会事務局 スポーツ文化課)** (新規)

6,057 千円

1 事業目的

郷土美術館の閉館に伴い、郷土美術館で所蔵している郷土資料の展示室を市民文化センター本館1階に開設し、資料移転及び新施設の維持管理を行う。また、郷土美術館に展示している旧中筋太鼓台の飾り幕について、あかがねミュージアムほか市内公共施設での展示を行う。

2 28年度の事業内容

資料室移転費(郷土美術館から市民文化センターへ展示資料を搬送) 2,268千円
 中筋太鼓台展示作業一式(布団締め等の飾り幕を市内公共施設で展示) 3,000千円
 新資料室パンフレット印刷代 150千円 他

(施) **総合文化施設充実費 (教育委員会事務局 総合文化施設管理課)** (新規)

47,100 千円

1 事業目的

「創る・学ぶ・育む」をテーマに、新居浜の歴史、文化及び芸術を通して、市民が集い、出会い、交流する場を提供する各種事業を実施する。市民に優れた芸術に触れる機会を提供するとともに、新居浜文化を市外へ広く情報発信する。

2 28年度の事業内容

(1) 美術館事業 24,300千円
 ・正光寺山古墳展、地域作家展 他
 (2) 開館1周年記念事業 22,800千円
 ・古代アンデス展、虚構の劇団公演 他

3 財源内訳

(1) 県 1/2 3,000千円(新ふるさとづくり総合支援事業費補助金)
 (2) その他 24,100千円(文化振興基金繰入金、美術館使用料、入場料収入)
 (3) 一財 20,000千円

(単) **総合文化施設環境整備事業 (教育委員会事務局 総合文化施設管理課)** (新規)

12,854 千円

1 事業目的

総合文化施設の来館者に安全で快適な環境を提供するため、必要な施設の整備を行う。

2 事業年度

平成28年度

3 28年度の事業内容

(1) 工事費 12,671千円
 ・駐輪場改修工事
 ・屋外ステージ階段設置工事
 ・屋内ステージ階段改良工事
 ・ホワイエへの階段改造工事
 ・地下断熱工事
 ・案内板設置工事
 (2) 事務費 183千円

4 財源内訳

(1) その他 12,854千円(文化振興基金繰入金)

◎ スポーツの振興と競技力の向上

(施) **国民体育大会開催対策費 (企画部 国体推進室)**

227,303 千円 (30,449 千円)

1 事業目的

平成29年に開催される国体を成功裏に導くため、本市で開催される4競技のリハーサル大会を実施する。また、新居浜市実行委員会を通じて、市民の方々へ周知啓発活動を推進し、国体開催の機運を高める。

2 事業年度

平成28年度

3 28年度の事業内容

【国民体育大会開催対策事業】

人件費(臨時・非常勤職員)	11,848千円
リハーサル大会従事職員(時間外等)	21,631千円
先進地視察旅費等	2,913千円
リース自動車等に係る経費	2,151千円
国体競技用具購入費	8,571千円
負担金(実行委員会)	180,189千円

〔負担金内訳〕

総務費 1,062千円

・会議費や事務局運営費

開催推進費 11,113千円

・リハーサル大会の広報(1年前イベント、広報関係委託料等)に係る経費

・市民運動(ふるまい運営、花管理等委託料等)等に係る経費

大会開催費 168,014千円

・リハーサル大会4競技会場運営等に係る経費

・輸送交通計画策定委託料等

4 財源内訳

(1) 県 68,885 千円 (国体運営費補助金等)

(2) 一財 158,418 千円

(単) **国体施設整備事業 (企画部 国体推進室)**

76,346 千円 (68,688 千円)

1 事業目的

平成29年に開催される国体における競技会場のアップ場について、参加される選手が安全かつ快適に使用できるよう施設整備を行うもの。

2 事業年度

平成25年度～平成28年度

3 28年度の事業内容

市営サッカー場アップ場設置工事 76,346千円

※工事概要

- ・フィールド舗装工事（人工芝：1,739㎡）、防球ネット工事（166m）等
- ・ベンチ・水飲み場等を設置

4 財源内訳

- (1) 県 1/2 36,878 千円（国体施設整備費補助金）
- (5) 一財 39,468 千円

(単) **体育施設環境整備事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課)**

94,346 千円 (62,282 千円)

1 事業目的

体育施設の利用環境の安全性を高めるため、老朽化により改修が必要な施設を計画的に整備する。また、施設管理に必要な備品類を順次更新することにより、利便性の高い施設としての機能を維持していく。

「銅山の里自然の家」については、立地条件を把握するための地すべり調査を継続して実施するとともに安全対策の設計を行う。

2 28年度の事業内容

- (1) 重量拳練習場屋根修繕 951千円
- (2) 委託料 15,434千円
東平地すべり調査、測量、調査、コンサルティング、設計業務等
- (3) 工事費 74,253千円
 - ・東雲市民プール幼児プール新設工事
 - ・市営サッカー場芝改良工事
 - ・市民体育館館内空調更新工事
 - ・銅山の里自然の家外壁等修繕工事
 - ・東雲市民プール塗装改修工事(流水プール)
- (4) 備品購入費 3,586千円
 - ・グラウンドほぐし機1台(市営野球場)
 - ・ウォーキングマシン1台(市民体育館)
 - ・乗用芝刈機1台(東雲競技場)
 - ・プールクリーナーセット1台(市民プール)

3 財源内訳

- (1) その他 28,966 千円（公共施設整備基金繰入金）
- (2) 一財 65,380 千円

◎近代化産業遺産の保存・活用の充実

(施) **別子銅山小説出版事業費** (企画部 別子銅山文化遺産課) (新規・総合戦略)

4, 582 千円

1 事業目的

本市の礎を築き、日本の産業近代化に大きな役割を果たした別子銅山を題材とした小説を出版することで、改めて歴史の教訓や先人の思想を学び、市民の郷土愛と誇りを醸成するとともに、全国に発信・販売することで、別子銅山近代化産業遺産群への観光客誘致につなげる。

2 事業年度

平成28年度

3 事業概要

別子銅山を題材とした小説を、出版社に委託して全国書店にて販売する。

○46判上製、350頁予定

○初版発行部数 4,000部

内、1,000部は新居浜市分として納入し、学校図書館・公民館等の公共施設に配布するとともに、住友各社・関係団体への寄贈、にいはま倶楽部会員へ送付する。

4 28年度の事業内容

(1) 委託料(執筆料、出版経費) 4,266千円

(2) 旅費(出版社・作家との打ち合わせ) 112千円

(3) 通信運搬費(にいはま倶楽部会員への送料) 204千円

5 財源内訳

(1) 県 1/2 2,291千円(新ふるさとづくり総合支援事業費補助金)

(2) 一財 2,291千円

(施) 端出場水力発電所公開活用費 (企画部 別子銅山文化遺産課)

8,509千円 (20,684千円)

1 事業目的

別子銅山の近代化を支えた象徴である旧端出場水力発電所について、将来にわたって保存活用するため、文化財としての価値を損ねることなく一般公開、活用を前提とした耐震補強を含む保存活用計画を策定するもの。別子銅山産業遺産を活かしたまちづくりに貢献。

2 事業年度

平成27年度～平成28年度

3 事業概要

旧端出場水力発電所の構造調査、耐震診断を含む補強案の作成等、保存活用計画策定業務の委託料及び学識経験者等の専門委員による保存活用計画策定委員会設置にかかる旅費、委員謝礼等。平成27年度からの2か年継続事業として実施している。平成27年度は、構造調査等を実施するとともに、策定委員会を2回開催し、文化財としての保護の方針等を協議してきた。平成28年度は、策定委員会において保護の方針、耐震補強案等を含む整備方針等について協議、決定し、平成29年3月末までに保存活用計画を策定する。

4 28年度の事業内容

(1) 委託料 (保存活用計画策定費)	7,712千円
(2) 旅費 (策定委員会委員旅費)	650千円
(3) 報償費 (策定委員会委員謝金)	120千円
(4) 需用費 (消耗品費)	27千円

5 財源内訳

(1) 国 1/2	4,254千円 (文化財建造物等を活用した地域活性化事業費補助金)
(2) その他	4,255千円 (あかがね基金繰入金)

(公) **旧広瀬邸庭園整備事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課)**

24,337 千円 (2,906 千円)

1 事業目的

かつて別子銅山の迎賓館としての役割を持っていた重要文化財旧広瀬邸の内庭について、修復剪定等の整備を行い、竣工当時の姿に近づけることで、文化財的価値を高める。

2 事業年度

平成27年度～平成29年度

3 28年度の事業内容

・旧広瀬邸内庭整備 19,543千円

文化財庭園保存技術者協議会準会員以上の者の指揮監督の下、旧広瀬邸庭園に文化財的修復を加える。

・広瀬公園調査 4,794千円

愛媛県指定名勝広瀬公園について、測量・文献調査等を実施する。

4 財源内訳

(1) 国 1/2 2,396 千円 (国指定文化財整備事業補助金)

(2) 市債 90% 17,500 千円 (地域活性化事業債)

(3) 一財 4,441 千円